

## 病院理念

- 1、私たちは「患者さん中心の医療」を実践します
- 1、私たちは患者さんの安心と信頼を得るように努力します
- 1、私たちは医療人としての誇りと自信を持って行動します

## 基本方針

### ① 高度・専門医療の提供

高度・専門医療を提供することで、幅広い診療圏を持ち、尾北医療圏の中核病院となる。

### ② 救命救急、災害医療

救命救急センター的機能を保有し、24時間救急に対応する。災害時には地域の拠点として災害医療を担う。

### ③ 江南市の市民病院的な役割を果たす

救急をはじめとする不採算医療を担うとともに、治療の院内完結率を向上させる。

### ④ 教育研修病院

臨床研修指定病院として、また、各種学会認定の研修施設として、広く医療従事者の資質向上に努める。

### ⑤ 地域連携への取り組みの強化

病・病連携、病・診連携の強化を図り、地域医療の後方支援に努めるとともに、研修、人的交流を通じて地域医療水準の向上を図る。

### ⑥ 予防医療の強化

健康管理センターを中心に疾病予防に力を入れ、疾病の早期発見、早期診断、早期治療に努める。



## 診療日カレンダー

■ 休診日(第2・4・5土曜日は休診です) ● 午後休診 (2009年)

### 10月

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3 ●
4 ■	5	6	7	8	9	10 ■
11 ■	12 ■	13	14	15	16	17 ●
18 ■	19	20	21	22	23	24 ■
25 ■	26	27	28	29	30	31 ■

### 11月

日	月	火	水	木	金	土
1 ■	2	3 ■	4	5	6	7 ●
8 ■	9	10	11	12	13	14 ■
15 ■	16	17	18	19	20	21 ●
22 ■	23 ■	24	25	26	27	28 ■
29 ■	30					

### 12月

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5 ●
6 ■	7	8	9	10	11	12 ■
13 ■	14	15	16	17	18	19 ●
20 ■	21	22	23 ■	24	25	26 ■
27 ■	28	29	30 ■	31 ■		

# 新型インフルエンザ



副院長・こども医療センター長 尾崎 隆男

インフルエンザウイルスはウイルス粒子内の核蛋白複合体の抗原性の違いからA・B・Cの3型に分けられ、このうち流行的な広がりを見せるのはA型とB型です。特にA型インフルエンザは、内部での変異型が多く、世界的な大流行を起こすことが知られています。A型とB型のインフルエンザウイルスの粒子表面には赤血球凝集素（HA）とノイラミニダーゼ（NA）という糖蛋白があり（図）、これらに対する免疫を持つことが感染を防ぐためには重要です。A型インフルエンザウイルスには抗原性の異なる16種類のHAと9種類のNAが知られており、これらが組み合わせられて、理論上144種類の亜型ができることになります。A型インフルエンザウイルスは人畜共通感染症であり、ブタやトリなどヒト以外の宿主にも広く分布しています。そのことが世界的な大流行（パンデミック）を周期的に引き起こす原因にもなっています。

2003年末から、東南アジアを中心とした地域で、A/H5N1亜型ウイルスによる高病原性鳥インフルエンザが家禽に深刻な被害をもたらしました。トリからヒトへの感染伝播も発生し、その死亡率は約60%と非常に高いものとなっていますが、これらの感染者のほとんどは、病鳥または死鳥との直接的で密接な接触により感染したと考えられています。トリからヒトへの感染は効率的ではなく、今のところA/H5N1のパンデミックは見られていません。

ところが、2009年4月にメキシコで、豚のあいだで流行していたA型インフルエンザウイルス（A/H1N1）が、農場で豚からヒトに直接感染し、そしてヒトからヒトへも効率的に感染しうることが認知されました。この新型インフルエンザ（「豚インフルエンザ」とも呼ばれる）は、またたく間に世界中に広がり、2009年6月12日、WHO（世界保健機関）によりパンデミックであることが宣言されました。一部の高齢者を除いて免疫が無いと考えられますので、今後4年くらいの間には地球上のほとんどのヒトが感染すると思われる。

幸いなことに、症状はこれまでに流行してきた季節性インフルエンザと同等と考えられています。常日頃から十分な休養とバランスの良い栄養に心がけること、また、インフルエンザに罹った時は、安静と同時に抗インフルエンザ薬（タミフル、リレンザなど）の服用をお勧めします。有効性をさらに高めた新薬の開発が進んでいます。また、新型インフルエンザ用のワクチンも現在製造中です。パンデミックとなってしまったことは深刻な問題ですが、悲観する必要はないと思います。

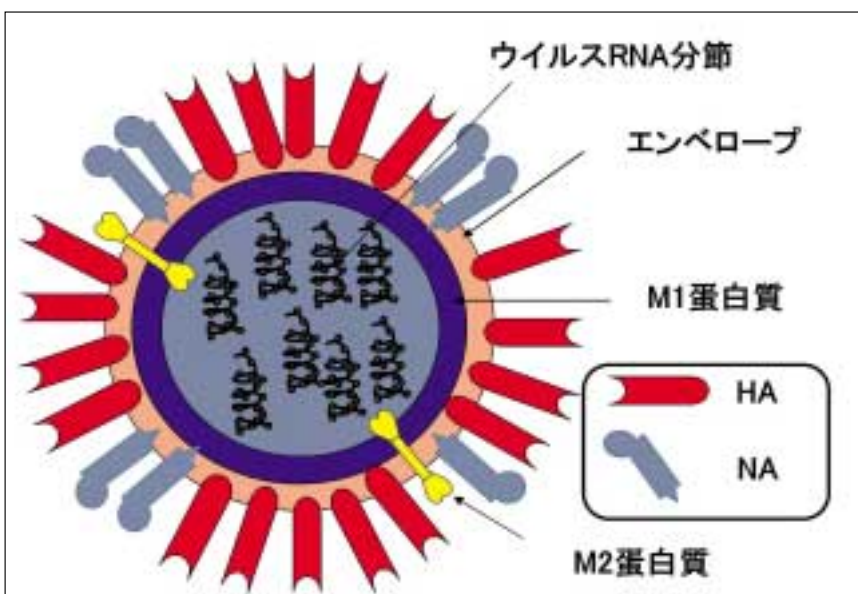


図:A型インフルエンザの構造

# 『カプセル内視鏡について』



第二消化器内科部長 佐々木 洋治



写真1:カプセル内視鏡

小腸の病気は胃や大腸と異なり口や肛門からの距離があるため、これまで内視鏡検査での診断が困難でしたが、2007年より日本でもカプセル内視鏡が認可され、実際の医療現場で使用されています。今回は当院でも実施可能なカプセル内視鏡検査について簡単に紹介します。

カプセル内視鏡は写真1のような26mm×11mm、3.7gのカプセル型の内視鏡装置です。1秒間に2回の撮影が行われ、内蔵のバッテリーがきれるまでの8時間に5万枚の画像を撮影し、体外のレコーダーに無線でデータを送ります。この検査の特徴はなんといっても苦痛の無い検査で、検査中自由に過ごせることです。具体的には、検査実施12時間前から絶食していただき（透明な水分は摂取可、前日の夜に下剤を内服）、当日朝、レコーダーを装着後にカプセル内視鏡を内服します（写真2）。その後は夕方まで自由にしていただき（病院内にいる必要はなく、お仕事をなさってもかまいません）、夕方にレコーダーを回収します。内視鏡写真はレコーダー内に保存されているので、後日画像解析ソフトを使って8時間分の写真を解析します（写真3・4）。カプセル内視鏡服用後は2時間で水分摂取可、4時間で食事を食べてもかまいません。カプセルは通常2日以内に便とともに排出されます。排便時に回収キットを使ってカプセル



写真2:レコーダーの装着



写真3:正常小腸

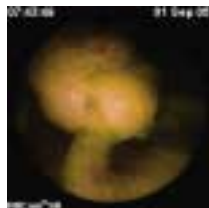


写真4:小腸ポリープ

内視鏡を見つけていただければ病院で処分いたします。もちろん再利用は行いません。カプセル内視鏡検査の合併症でもっとも深刻なものは滞留、すなわちカプセルが詰まってしまうことです。従って事前に消化管に狭いところがあると分かっている人はこの検査はできません。狭いところに詰まってしまった場合は小腸用内視鏡で回収するか最悪手術になってしまうので、詰まった場合の手術に同意を得られない

場合は検査ができません。ただ、カプセルが詰まってしまうような狭い部分が小腸にあるのは明らかに異常ですから、手術を含めた何らかの治療がいずれは必要にはなるでしょう。また、胃腸の動きの悪い人はカプセルが排出されるまで5～6日かかることもあり、バッテリーが切れる8時間で小腸全部が記録されないこともあります。

今のところはカプセル内視鏡検査の適応は“**上部及び下部消化管の検査を行っても原因不明の消化管出血を伴う患者**”です。小腸専用の検査ですから、今のところは多くの方が気軽に検査できる状況ではありません。大腸用のカプセル内視鏡も近々保険適応になるといわれておりますが、通常の内視鏡検査と比べてカプセル内視鏡の弱いところは画像と処置でしょう。空気をしっかりと入れて、残渣を吸引しながら観察する通常の内視鏡検査と比較するとカプセル内視鏡検査の画像はやはり劣っています。また、何か異常があってもカプセルは撮影しながら流れていだけなので、細胞の採取やポリープを切除することはできません。

以上、カプセル内視鏡検査について簡単に紹介しましたが、最近の科学技術の進歩には目を見張るものがありますので、近い将来リモートコントロールで処置もできるカプセル内視鏡が開発されるかもしれませんね（写真5）。



写真5

## あなたはサプリメントを飲んでいますか？

薬剤科 主任薬剤師 羽田 清



昨今の健康ブームの中で、サプリメント（いわゆる健康食品）を飲んでみえる方は多いのではないのでしょうか。「サプリメントだから副作用はないから安心して飲めるわ」と思っていないませんか？しかし、サプリメントを飲んで下痢・悪心・かゆみ・湿疹などの症状が出たことがあるという報告があります。サプリメントも薬と同じように副作用には注意していただきたいと思います。また、薬とサプリメントの飲みあわせ（相互作用）についても薬の効果を強めたり弱めたりすることがありますので注意が必要です。例えば、ハーブのセント・ジョーンズ・ワート（セイヨウオトギリソウ）は強心薬、抗不整脈薬、喘息治療薬などの効果を弱めます。また青汁は血液を固まりにくくする薬（ワルファリン）の効果を弱めてしまいます。逆にイチヨウ葉やウコンはワルファリンの作用を強めてしまうことがあります。サプリメントではありませんが、グレープフルーツジュースが一部の降圧薬、抗コレステロール薬、睡眠薬等の効果を強め思わぬ副作用が出る場合があります。ほかにも様々な飲みあわせが知られています。せっかく体に良いと思ってサプリメントを補給しても、かえって病院での治療効果を妨げてしまうことがあるのです。ですから、サプリメントを現在飲んでいる方、またこれから飲んでみようかなとお考えの方はぜひ医師又は薬剤師にご相談頂きますようお願いいたします。

## 日本人にも「乳がん」は増えています

放射線技術科 診療放射線技師 武市 めぐみ



30代から50代の女性がかかる「がん」の中で、一番多いのが「乳がん」です。乳がんは年々増えており、現在、日本人女性の20人に1人が乳がんにかかっています。その勢いは7～8人に1人の割合で乳がんにかかるアメリカに徐々に近づいています。そして乳がんで亡くなる方も増えており、死亡率は約10年間で2倍になりました。

マンモグラフィーとは乳房専用のエックス線撮影の事です。乳がんの精密検査や検診に使用します。撮影は左右片方ずつ行います。良い写真を撮るために乳房を引っ張ってアクリル板ではさみ、薄く均一な厚みにします。これによって小さなしこりや、細かい石灰化が分かります。圧迫による痛みを感じる事もありますが、撮影はすぐに終わりますので、少しの間、ご辛抱下さい。当院では全て女性の放射線技師が担当します。

マンモグラフィーでは、わずかな放射線の被ばくがありますが、エックス線の量は非常に少なく、検査によって得られる利益（乳がんからの救命）の方がはるかに大きいと言われております。ただし妊娠の可能性のある方は、あらかじめ申し出てください。

乳がんの予防には、肉類を中心とした食事をやめて、野菜を十分に使ったバランスの良い食事をお勧めします。タバコを控えめにし、適度に運動して、十分な睡眠を心掛けて下さい。また日頃から乳房に関心を持ち、月に一度の自己検診によって、乳房のわずかな変化を見逃さないようにして下さい。そして40歳以上の方は、1年に一度、マンモグラフィーでの検診をお勧めします。

## 「高専賃」について

### 医療福祉相談室

皆さんは「高専賃(こうせんちん)」という言葉を知っていますか。「高専賃」とは「高齢者専用賃貸住宅」の略語です。「高齢者専用賃貸住宅」は高齢者の入居を拒否しない住宅(「高齢者円滑入居賃貸住宅」)のなかで専ら高齢者を賃借人とする賃貸住宅として登録された賃貸住宅のことを言います。

この住宅は「高齢者の居住安定確保に関する法律」に基づいて制度化されたもので、国土交通省が管轄をしていますが、単に居室を賃貸するだけのものと入居者に介護など生活支援サービスを提供する住宅と分けられます。

「高齢者専用賃貸住宅事業者協会」によると現在、全国に1,442カ所36,994室このような住宅があるようですが、介護保険施設や有料老人ホームの新設が抑制される

中で全国的にも急増しており私たちの身近な場所でもその名前を聞くようになりました。最近では高齢化の時代背景のもと、施設も多様化し、名前を聞いただけではそこがどのような施設なのかわかりにくくなっています。費用面や提供されるサービスなども機関によって異なります。「高齢者専用賃貸住宅」に限らず施設・住宅の入居にあたり様々な問題も発生していると聞きます。複数の機関に出向き情報収集したうえで、必ず見学を行い自分の目で確かめて決める事が大切になると思います。



## 2009「公開医療福祉講座」開催!!

今年度より地域住民の皆様に向けた情報提供の場として「公開医療福祉講座」を開催しています。7月7日(火)には加藤院長より「病院の現状と地域住民の方々へのメッセージ」、9月4日(金)には長谷川看護部長より「看護師の役割」というテーマで行われました。参加者の方々からの質問も多数あり、医師不足、看護師不足、時間外救急体制の存続のための受診の在り方、新型インフルエンザのことなどを取りあげる有意義な機会となりました。また、患者さんやご家族の皆さまの「ありがとう」という言葉が、医師や看護師の働く意欲の一番の原動力となっているというお話があり、参加者からの感謝の気持ちもお話いただきました。今後も地域住民の皆様から「ありがとう」がたくさんもらえる病院づくりに向けて職員一同力を合わせていきます。次回の講座は11月6日(金) 鈴江事務長が「世界の医療 日本の医療」についてお話しします。多数の参加をお待ちしています。



加藤院長



長谷川看護部長

■院内BLS講習会

当院では平成20年9月より「A  
CLS普及プロジェクト委員会」  
の院内BLSインストラクター  
が中心となり、職員むけにA  
ED（自動体外式除細動器）を  
用いた成人心肺蘇生法  
の講習を行っています。

2005年の「愛・  
地球博」会場でもA  
EDを使用して4名の尊  
い命が救われました。

AEDは最近、色々な  
場所に設置されていま  
すが、使い方がわから  
なければいざというとき役に立  
ちません。心停止した人に対し  
ては、早期に心肺蘇生法とA  
EDを用いた電気ショック（除細  
動）を行うことが、救命率ア  
ップにつながります。一人でも多  
くの方の命を救  
うためにも、す  
べての職員がA  
EDを使用する  
ことができるよ  
う今後も継続し  
て活動してい  
ます。



■ゴスペルライブ

7月22日(水)に「The Clear  
Flow」（江南短大生涯学習グル  
ープ）のメンバー  
が行われました。  
ゴスペルとは、  
黒人霊歌をルー  
ツとした魂の  
音楽です。

「I will Bless the Lord」  
「I know I've been changed」  
「No one like you」 「歩むる」  
等、素敵なハーモニーを披露さ  
れました。また参加者と共に「う  
み」を合唱し、楽しいひと時を  
過ごすことができました。



■一日看護体験研修

8月5日(水)に高校生37名  
が参加し「一日看護体験研修」  
が行われました。洗髪、足浴等  
の体験をしていただきました。  
最初は皆ぎこちなかったよう  
ですが、入院され初めての散歩  
が一緒し、次第に笑顔と会話が  
はずみ患者さんも嬉しそう  
やかなひと時となりました。研  
修が自信につながり「看護師に  
なりたい」、「助産師になりたい」  
とより一層思うようになったと

の感想をいただきました。今後  
も研修を通して一人でも多くの  
方の夢の橋渡しをお手伝いでき  
るように年一回予定しております。

すので是非ご  
参加ください。  
お待ちしております。



クラウン・パラダイスの  
ジョイフル☆クラウンショー

「長期入院の子どもの心を癒す  
芸術との出会い」事業行われる!!

9月5日(土)5階子ども医  
療センターの多目的室にクラウ  
ン(道化師、ピエロ)の二人(ジョー  
イとタット)がやってきました。  
昨年に引き続き厚生労働省が今  
年は全国20ヶ所に補助金を出し  
てくれた事業です。長期入院・  
療養・通院をされているお子さ  
んたち、ご家族の方にワクワク  
ドキドキする楽しい時間を届け  
てくださいました。ボールやロー  
プを面白おかしく使って子ども

たちも拍手！拍手！拍手！バル  
ーンをみんな上手に作ったりし  
ました。病室から出ることで  
きない子どもたちの病室にも訪  
問してください、あつという間  
の楽しいひと時でした。普段病  
院生活と日常生活の中で、なか  
なかふれることの少ない「笑い  
の時間」をつくれたことは親子  
の心に残ったのではないのでし  
ょうか。



編集後記

掲載希望の記事、ご意見ご要  
望がありましたら、広報委員会  
までご連絡ください。

江南厚生病院広報委員会

委員一同